

中小企業景況調査報告書

2020年4～6月期実績

2020年7～9月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2020年4～6月期の実績(6月見込)2020年7～9月期見通し

②調査期間：2020年5月22日～6月1日 ※調査時点は2020年6月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、大樹町、広尾町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、釧路町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	49	96.1%	小売業	90	83	92.2%
建設業	48	45	93.8%	サービス業	111	107	96.4%
				合計	300	284	94.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今期	来期見込
	今期	来期見込	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9	H31.10-12		
製造業	▲ 59.1	▲ 59.9	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 52.1	▲ 45.4
建設業	▲ 25.0	▲ 24.5	▲ 11.9	13.6	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 13.3	▲ 27.2
小売業	▲ 72.0	▲ 68.4	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 56.1	▲ 40.5
サービス業	▲ 70.4	▲ 60.8	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 70.0	▲ 36.0

3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R1. 7-9	R1. 10-12	R2. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	4.1	6.7	13.6	12.8	11.6	2.2	9.1
	不 変	32.7	26.7	68.2	61.7	44.2	43.5	36.4
	悪化した	63.2	66.6	18.2	25.5	44.2	54.3	54.5
	D・I	▲ 59.1	▲ 59.9	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 32.6	▲ 52.1	▲ 45.4
売上(加工)額	増加した	6.1	6.1	40.4	20.0	15.2	18.8	
	不 変	22.4	20.4	31.9	44.0	21.7	27.1	
	減少した	71.5	73.5	27.7	36.0	63.1	54.1	
	D・I	▲ 65.4	▲ 67.4	12.7	▲ 16.0	▲ 47.9	▲ 35.3	
資金繰り	好転した	6.3	4.3	6.5	6.1	6.8	0.0	
	不 変	43.8	38.3	89.2	87.8	68.2	52.2	
	悪化した	49.9	57.4	4.3	6.1	25.0	47.8	
	D・I	▲ 43.6	▲ 53.1	2.2	0.0	▲ 18.2	▲ 47.8	
原材料仕入単価	上昇した	25.5	21.7					
	不 変	68.1	67.4					
	低下した	6.4	10.9					
	D・I	19.1	10.8					
採算(経常利益)	好転した	6.1	6.3					
	不 変	30.6	33.3					
	悪化した	63.3	60.4					
	D・I	▲ 57.2	▲ 54.1					

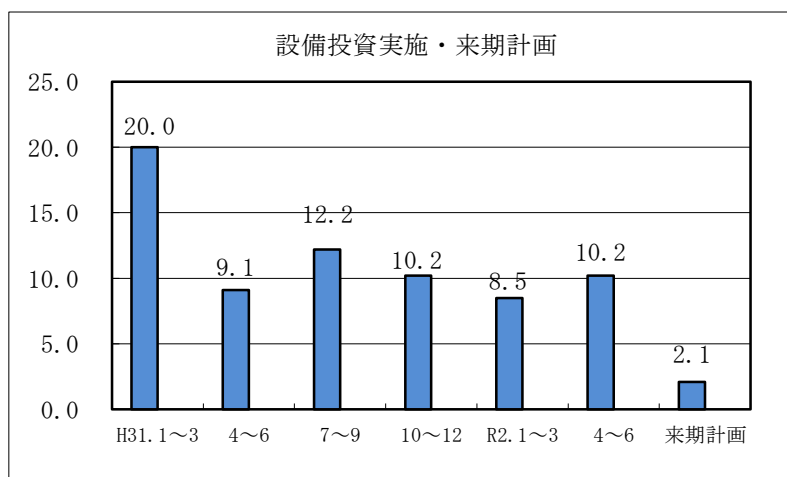
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答49事業所の内、5事業所(10.2%)が実施。●生産設備=3事業所、●車両・運搬具=2事業所、●土地、工場建物、付帯施設=各1事業所

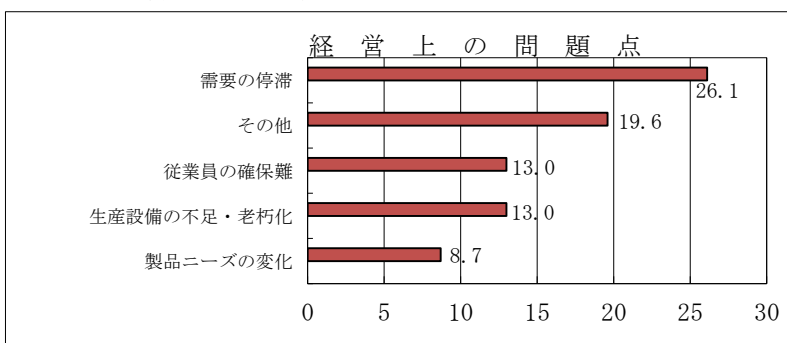
【来期計画内容】

回答48事業所の内、来期に1事業所(2.1%)が計画。
●生産設備、福利厚生施設=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回の1位も「需要の停滞」で前回より1.2ポイント減少。2位は前回番外の「その他」で17.3ポイントの増加で、内容は新型コロナウイルスの影響であった。3位は前回4位の「従業員の確保難」と前回5位の「生産設備の不足・老朽化」で、「従業員の確保難」は1.6ポイント増加。「生産設備の不足・老朽化」は前回6.2ポイント増加した。5位は「製品ニーズの変化」で前回3位から7.2ポイント減少した。前回2位の「原材料価格の上昇」は18.3ポイント減少で番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R1. 7-9	R1. 10-12	R2. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	4.5	4.4	9.3	13.3	12.2	6.7	2.3
	不変	66.0	66.7	79.1	71.1	56.1	73.3	68.2
	悪化した	29.5	28.9	11.6	15.6	31.7	20.0	29.5
	D・I	▲ 25.0	▲ 24.5	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 27.2
完成工事（請負工事）額	増加した	11.1	6.7	34.9	18.2	11.9	31.1	
	不変	48.9	40.0	53.5	45.4	47.6	31.1	
	減少した	40.0	53.3	11.6	36.4	40.5	37.8	
	D・I	▲ 28.9	▲ 46.6	23.3	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 6.7	
資金繰り	好転した	6.8	6.8	7.1	4.8	7.1	6.8	
	不変	75.0	63.7	88.1	85.7	85.8	72.7	
	悪化した	18.2	29.5	4.8	9.5	7.1	20.5	
	D・I	▲ 11.4	▲ 22.7	2.3	▲ 4.7	0.0	▲ 13.7	
材 料 仕入単価	上昇した	31.8	34.1					
	不変	65.9	63.6					
	低下した	2.3	2.3					
	D・I	29.5	31.8					
採算（経常利益）	好転した	4.4	6.7					
	不変	71.2	62.2					
	悪化した	24.4	31.1					
	D・I	▲ 20.0	▲ 24.4					

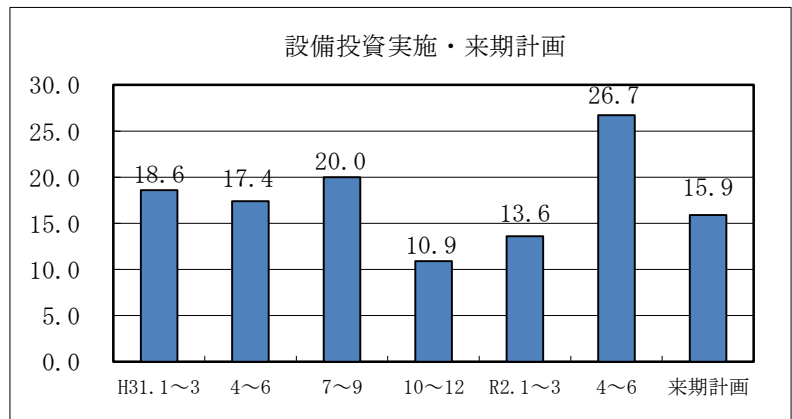
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答45事業所の内、12事業所(26.7%)が実施。●車両・運搬具=5事業所、●OA機器=4事業所、●土地、建設機械=各3事業所、●建物=2事業所、●付帯施設、その他=各1事業所

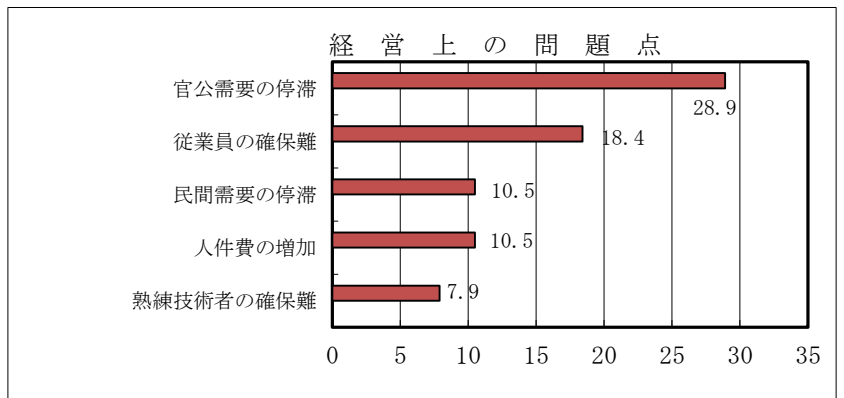
【来期計画内容】

回答44事業所の内、来期は7事業所(15.9%)が計画。●土地、建設機械=各3事業所、●建物、車両・運搬具、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回も1位は「官公需要の停滞」だったが前回より5.4ポイント減少した。2位も前回同様「従業員の確保難」でこちらは4.1ポイントの増加。3位も前回同様「民間需要の停滞」で0.9ポイントの減少。同じく3位の「人件費の増加」は前回番外より7.6ポイントの増加。5位は前回3位の「熟練技術者の確保難」で3.5ポイント減少した。前回5位の「下請け業者の確保難」は3.3ポイント減少となり今回は番外となった。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R1. 7-9	R1. 10-12	R2. 1-3	今期	来期見込
業 況	好転した	0.0	2.5	6.7	6.9	6.7	3.8	6.8
	不 変	28.0	26.6	64.0	50.0	40.0	36.3	45.9
	悪化した	72.0	70.9	29.3	43.1	53.3	59.9	47.3
	D・I	▲ 72.0	▲ 68.4	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 46.6	▲ 56.1	▲ 40.5
売上額	増加した	4.8	2.4	22.9	24.7	13.3	10.8	
	不 変	22.9	22.9	42.2	30.9	26.7	34.9	
	減少した	72.3	74.7	34.9	44.4	60.0	54.3	
	D・I	▲ 67.5	▲ 72.3	▲ 12.0	▲ 19.7	▲ 46.7	▲ 43.5	
資金繰り	好転した	1.2	1.2	6.1	3.8	2.7	0.0	
	不 変	50.6	48.2	67.1	69.3	56.8	59.8	
	悪化した	48.2	50.6	26.8	26.9	40.5	40.2	
	D・I	▲ 47.0	▲ 49.4	▲ 20.7	▲ 23.1	▲ 37.8	▲ 40.2	
商 品 仕入単価	上昇した	27.7	24.1					
	不 変	65.1	68.7					
	低下した	7.2	7.2					
	D・I	20.5	16.9					
採算(経 常利益)	好転した	1.2	1.2					
	不 変	30.1	28.4					
	悪化した	68.7	70.4					
	D・I	▲ 67.5	▲ 69.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

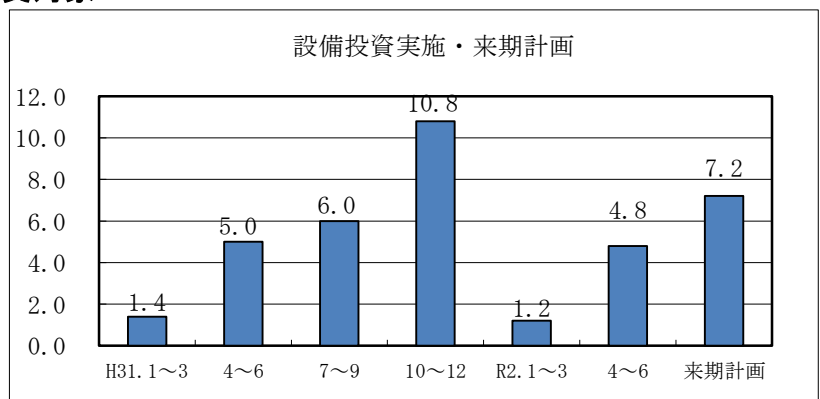
回答83事業所の内、4事業所(4.8%)が計画。

●車両・運搬具=3事業所、●店舗、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

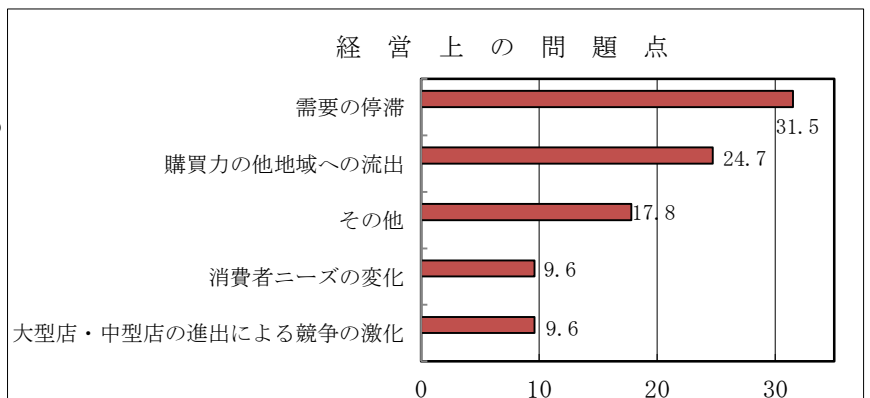
回答83事業所の内、来期は6事業所(7.2%)が計画。

●販売設備=4事業所、●車両・運搬具、OA機器=各3事業所、●その他=2事業所、●土地、店舗、付帯施設、福利厚生施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回も1位は「需要の停滞」で前回から4.1ポイント増加。2位も前回と同じく「購買力の他地域への流出」でポイントの増減はなかった。3位が前回番外の「その他」で前回より14.1ポイントの増加であった。内容としては新型コロナウイルスの影響であった。4位は前回同様「消費者ニーズの変化」でポイントの増減はなく、同じく4位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」は前回3位から5.5ポイント減少した。前回5位の店舗の狭隘・老朽化は1.4ポイントで前回より4.1ポイントの減少で番外となった。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前期比				
		今期	来期見込	R1. 7-9	R1. 10-12	R2. 1-3	今期	来期見込
業況	好転した	2.9	3.9	11.6	7.5	4.4	0.0	10.0
	不変	23.8	31.4	65.2	61.3	53.4	30.0	44.0
	悪化した	73.3	64.7	23.2	31.2	42.2	70.0	46.0
	D・I	▲ 70.4	▲ 60.8	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 37.8	▲ 70.0	▲ 36.0
売上(収入)額	増加した	5.6	5.7	29.8	13.0	10.3	3.7	
	不変	13.1	22.6	39.4	42.0	36.1	19.6	
	減少した	81.3	71.7	30.8	45.0	53.6	76.7	
	D・I	▲ 75.7	▲ 66.0	▲ 1.0	▲ 32.0	▲ 43.3	▲ 73.0	
資金繰り	好転した	0.9	0.9	7.8	5.1	3.1	0.0	
	不変	43.0	43.4	74.6	75.5	68.8	48.1	
	悪化した	56.1	55.7	17.6	19.4	28.1	51.9	
	D・I	▲ 55.2	▲ 54.8	▲ 9.8	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 51.9	
仕入単価(材料等)	上昇した	26.7	22.1					
	不変	65.7	69.2					
	低下した	7.6	8.7					
	D・I	19.1	13.4					
採算(経常利益)	好転した	2.8	2.8					
	不変	23.4	31.8					
	悪化した	73.8	65.4					
	D・I	▲ 71.0	▲ 62.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

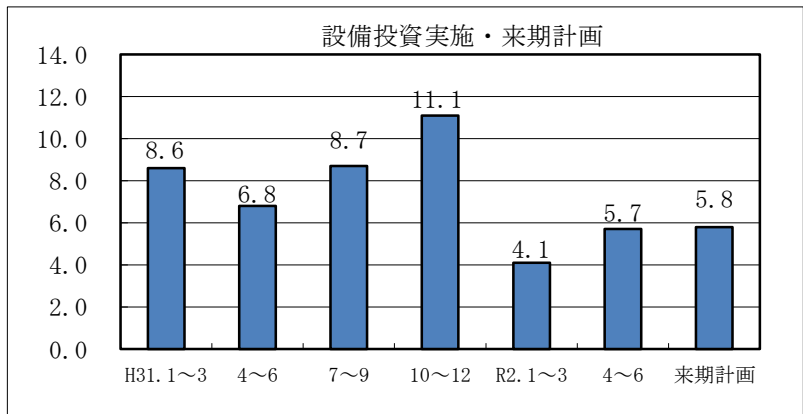
回答105事業所の内、6事業所(5.7%)が実施。

●車両・運搬具=2事業所、●土地、サービス、付帯施設、その他=各1事業所

【来期計画内容】

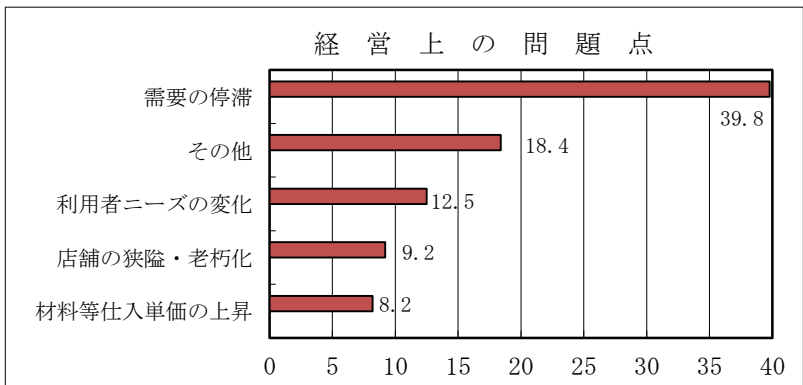
回答104事業所の内、6事業所(5.8%)が計画。

●土地、建物、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回と同じく「需要の停滞」で13.6ポイント増加した。2位の「その他」は前回番外から14.7ポイント増加で、内容は新型コロナウイルスの影響であった。3位は前回2位の「利用者ニーズの変化」で5ポイントの減少。4位は前回同様「店舗施設の狭隘・老朽化」で前回より2.1ポイントの減少であった。5位は「材料等仕入単価の上昇」で前回3位から4.3ポイント減少した。前回5位の「利用料金の低下、上昇難」は2.1ポイント減少の6.2%で番外となった。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

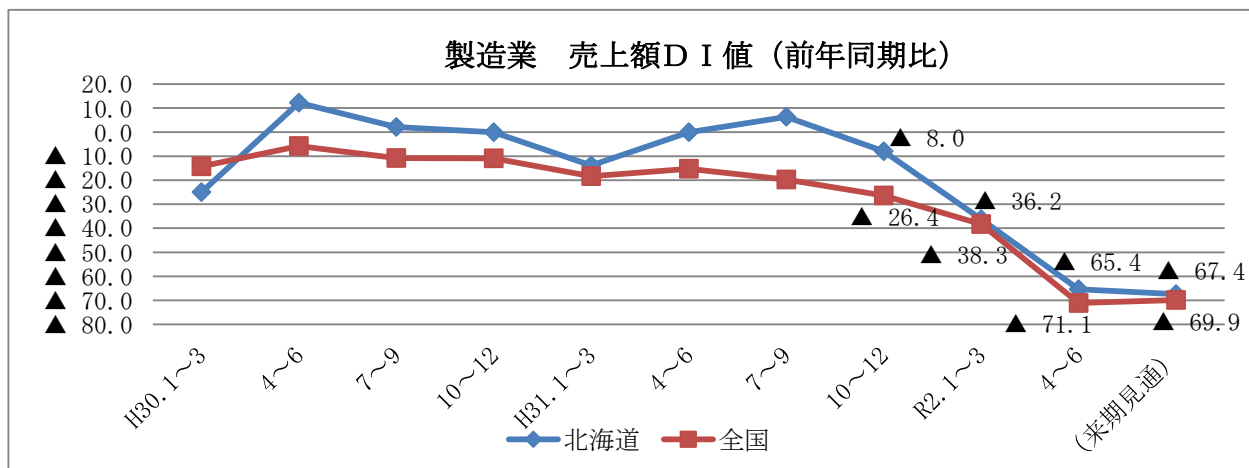
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

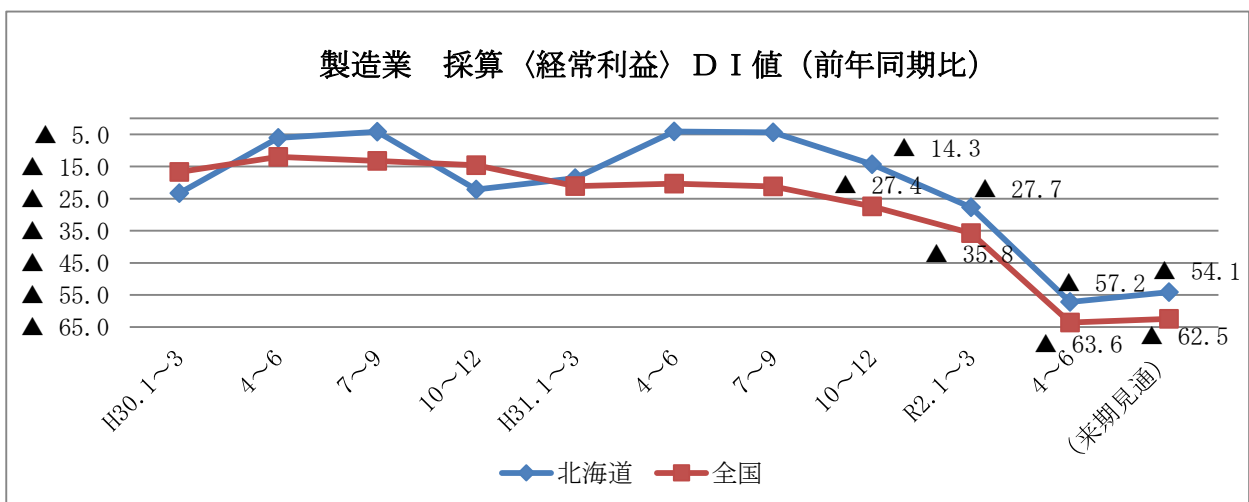
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

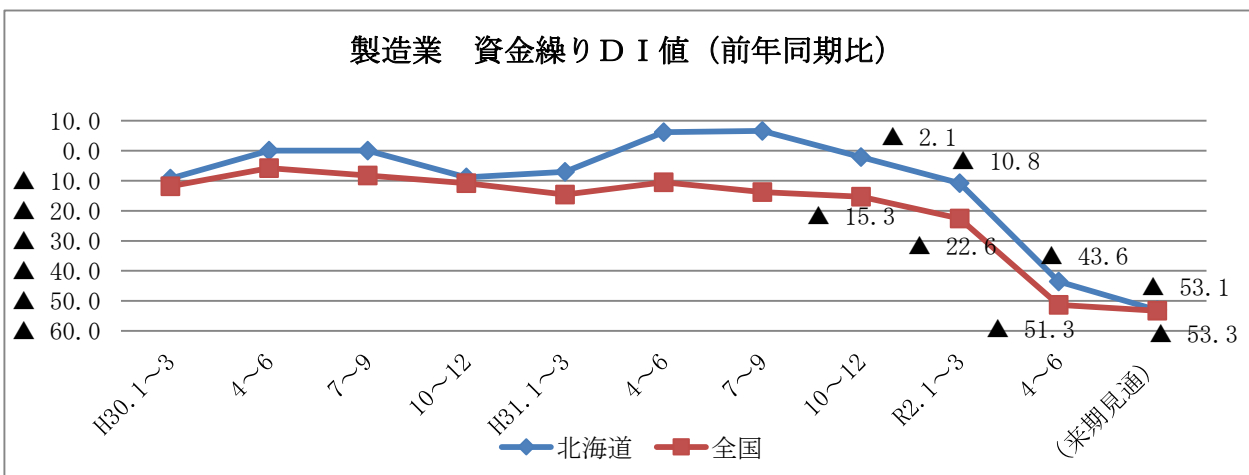
売上額



採算



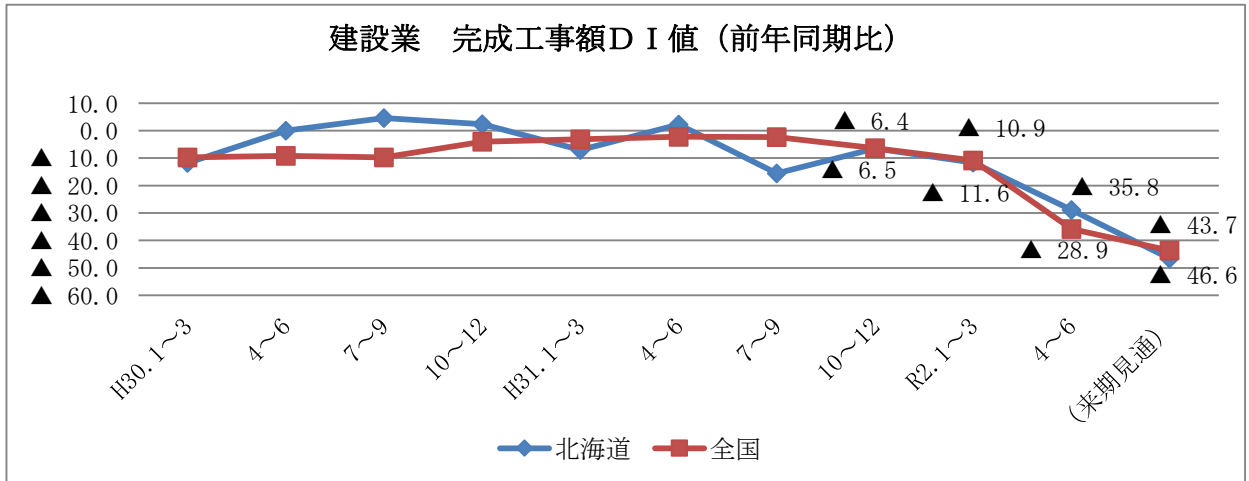
資金繰り



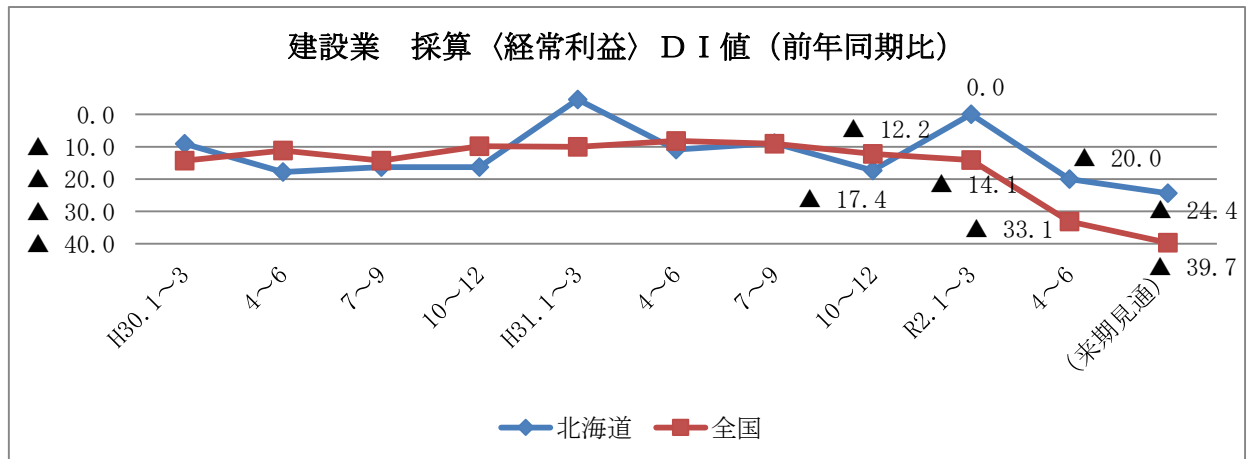
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

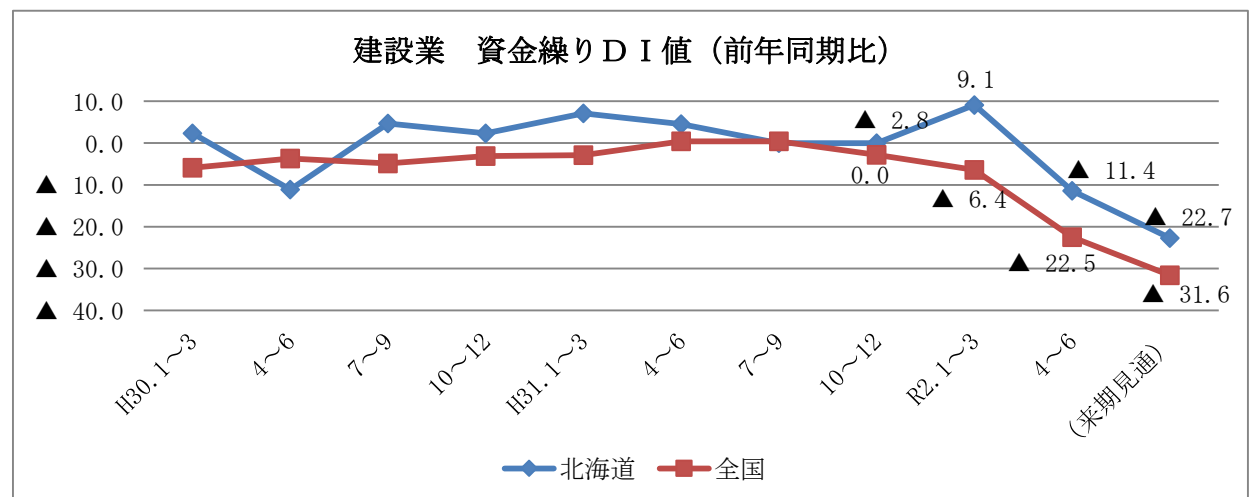
完成工事額



採算



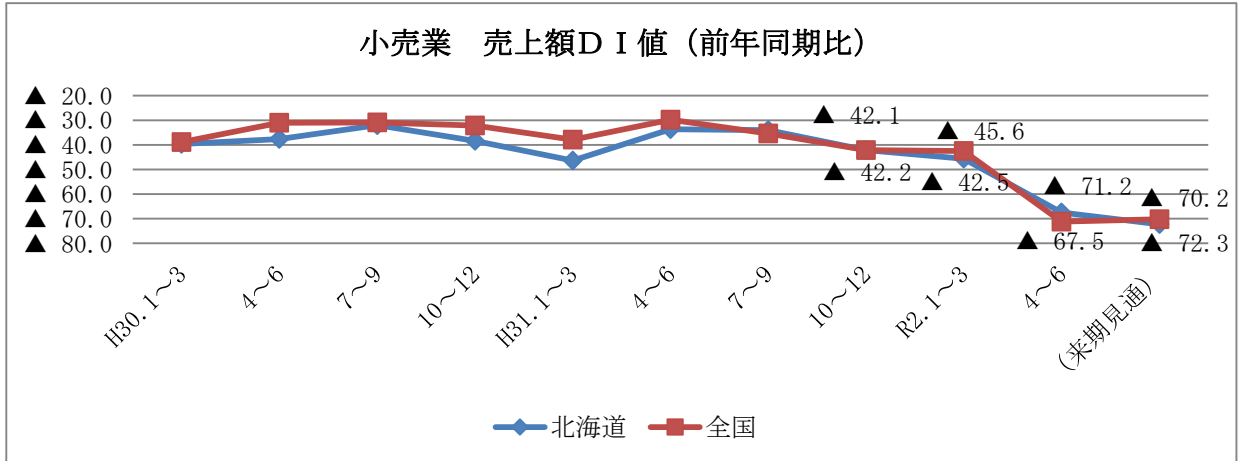
資金繰り



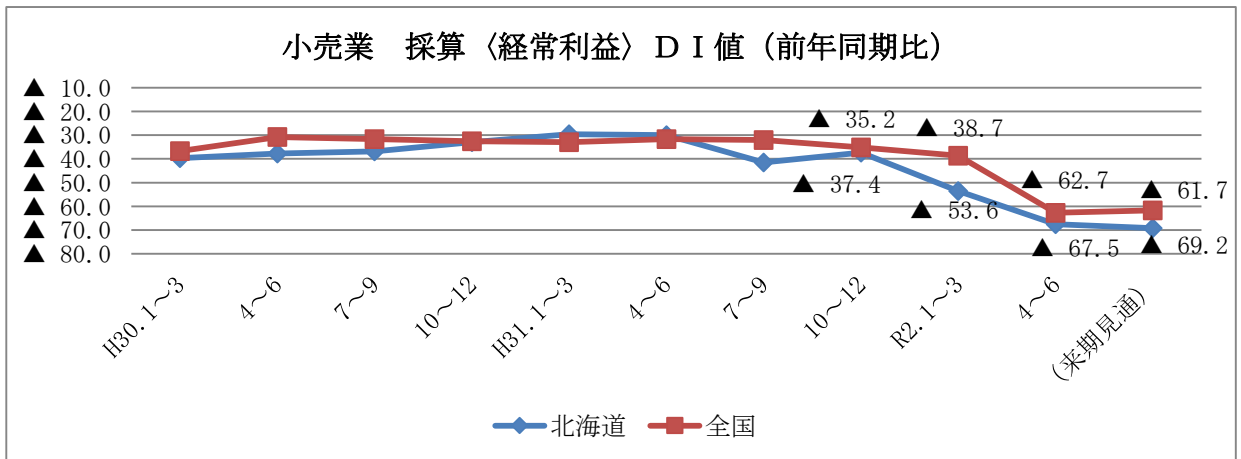
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

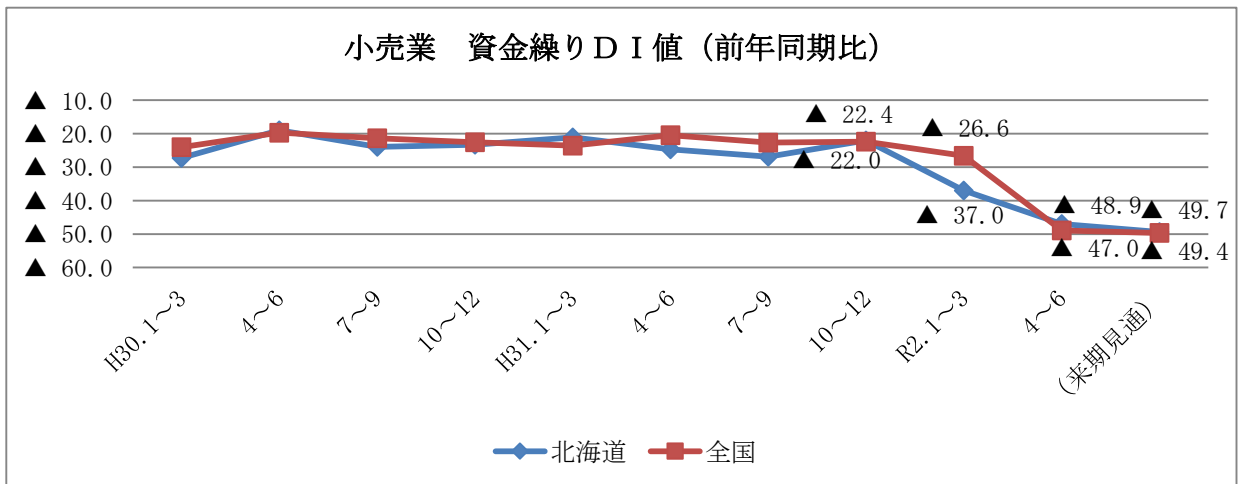
売上額



採算



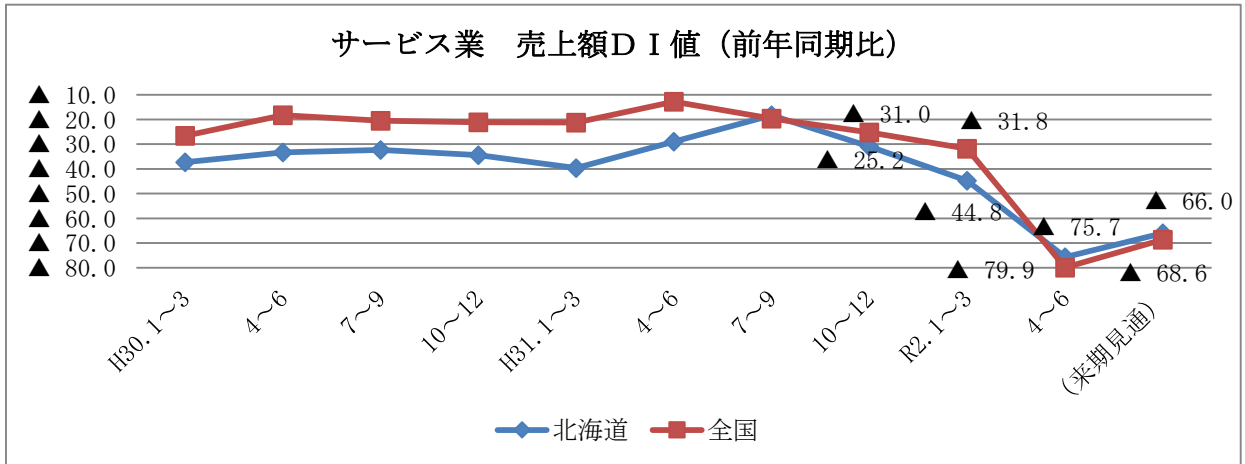
資金繰り



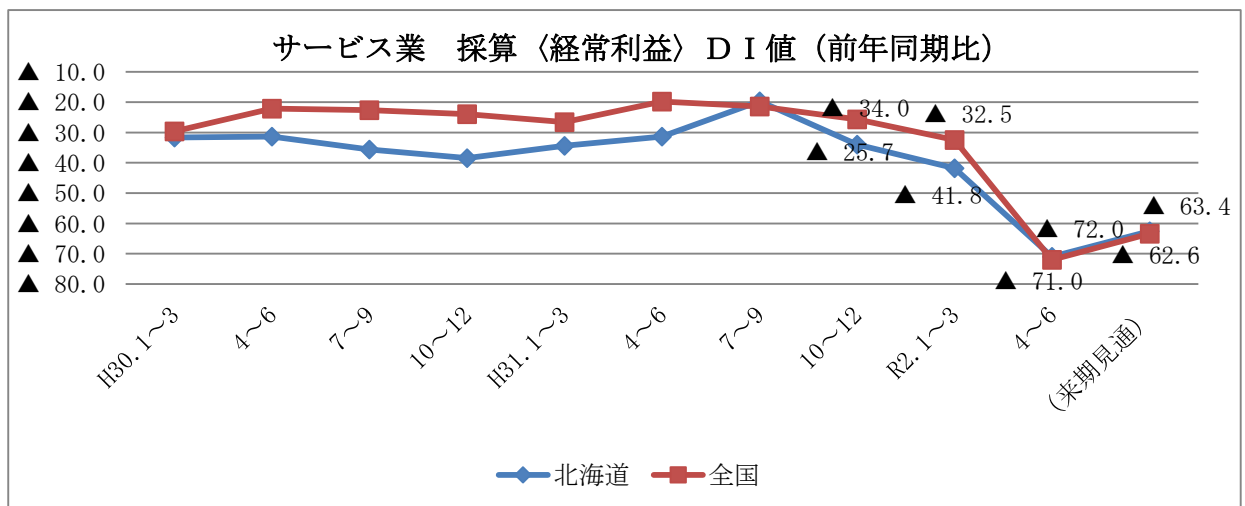
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

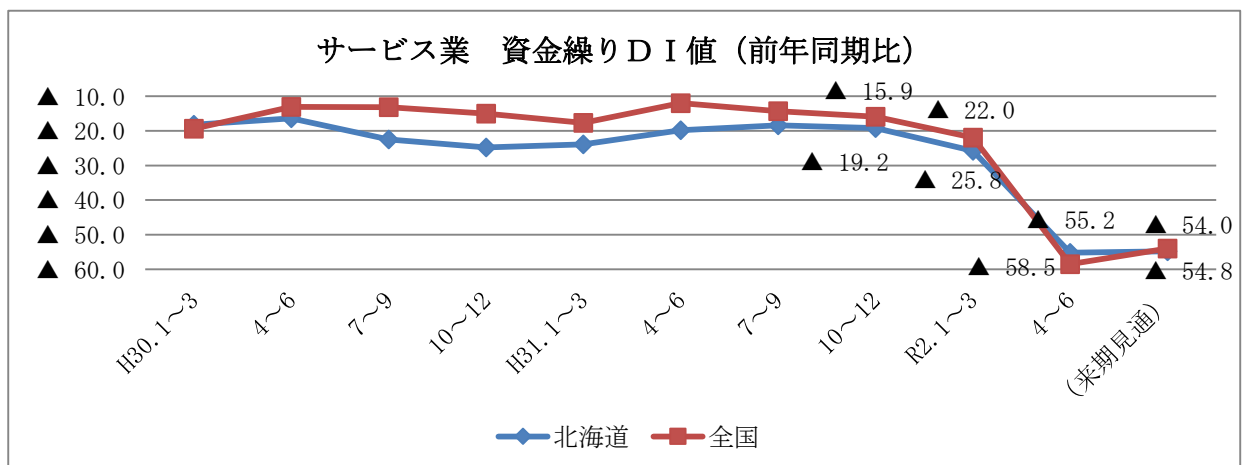
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●弊社ではトンネル用支保工の生産を行っておりますが、札幌延伸に伴うトンネル工事に支えられており受注は順調です。コロナウイルスの影響もないため社員一同元気です。トンネル工事が終わるまでですが良いと思います。●新型コロナの影響で、観光地の受注がほぼ無くなった。他の取引先も、先延ばしになり全く見通しがたたない状況。売れ筋の鹿革の在庫を増やしたり、経費の見直しをしながらしのいでいます。●飲食店等の他業種との繋がりも多いので業界として影響を受けやすい。季節催事などの自粛や中止が続くと思われるので、見込みはあまり期待できない。個人消費も冷え込んでいるようだし。●コロナの影響で卸先の事業所が休業していて売上が見込めない状況。材料の間屋も長期休業での在庫処分品と思われる消費期限の短いものが多くなり、ロスを生む原因となっている。●今年1月より製品の引き合いは強く増加したが、新型コロナウイルス禍の中、都市でのデパートが長期に渡り休業となった。その結果、売上の大きい増加はなかった。今後もコロナ禍の収束次第と考える。●新型コロナの影響がじわじわと出始めている。一刻も早く終息し普通の生産体制と営業活動が出来るようになって欲しい。●コロナウイルス拡大によるイベント中止により影響が6月・7月に出ると思われる。●今後コロナの影響をどのくらい受けるか、夏の営業にどのくらい響くのか気になります。●コロナの影響によるイベント等の中止、自粛による営業の休業などで印刷物が減少しました。●建築・鉄鋼業は決算時期の関係で4～6月以降に売上が伸びていく傾向があるが、特に本年度は新型コロナウイルスの影響もあり、例年より売上が減少する事が予想される。●一般住宅のリフォーム需要が見込まれる時期だが、コロナの影響で受注済リフォームの延期や取り止めが発生している。●コロナの影響。●コロナウイルスの影響を受け、原材料の仕入等が困難となり、それに伴い売上也減少してしまっている。●コロナ関係による経済のシュリンクにより今後3～4ヶ月の間受注が減少すると思われる。その後の回復が見通せない。●現状では新型コロナの影響もなく、例年通り。原材料の仕入単価も増減はまちまちであるが、大きく変わってはいない。●コロナの影響により、少しずつ影響が出ている。受注も減少しているが、発注した部品が届かなかったりする。●現在の所「新型コロナ」の影響も無い。事業の鮮魚下請処理では、他社の取扱いしないメバル等が豊漁で、売上が伸びているが、今後「新型コロナ」の影響が心配だ。</p>
建設業	<p>●前期・前々期は赤字ながらも、当初今期は売上高・利益共に改善の見通しであったが、コロナの影響に伴い、施工の資金調達が難しい案件が増えた。また、残工事以外の小工事さえ3月より著しく減少している。●今期元請工事が増加傾向にあり、外注額の増加に注視し、コロナの影響が今後どのような形で建設全体に及ぼすが分からないので、設備投資を消極的にならざるを得ない。●コロナの影響が来年度どれくらいあるか心配。●未曾有のコロナウイルスの緊急事態宣言により、建設業は自粛対象になってはいないが他の業界に比べ全体的に鈍く、身近な業者間では工事を継続しているが感染防止と現場作業員の生活維持の両立が前途多難な課題である。●今年は例年になく冬期工事が受注された事で売上が上昇したが、来年以降公共事業の減少により、売上也減少する見込です。●新型コロナウイルスの影響で、一部公共工事が中断、さらに資材入荷遅れ、運送代の値上げ、景気停滞により、民間需要の停滞等、大きな問題となっている。今後も景気停滞の影響が来期に渡り悪影響を与えるであろう。</p>

小
売
業

●コロナの影響により、米国やイギリス等からの部品輸入が来なくなった。また、納期も延びて客の注文に対応できず、商機を失ったケースがある。●コロナの影響でお客様への営業活動が行えず、待ちの商売にならざるを得ない。●新型コロナウイルスの影響が今後、商品供給、資金繰り等、幅広い面で数字に表れてくる。先行きの見えない状況だが、まだまだ続く事が現実であるため。●コロナウイルスのため売上、客数が激減している。●前年度、最悪の売上で落ち込んでいるところへ、今年はコロナの影響をもろに受けております。●3・4月はコロナの影響で本業の衣料品は3割減、4月は5年に1度の教科書改訂のために指導書で450万円の売上増になっています。利益率は12%ですが今回は助けられました。●コロナによる飲食店・スナックへの影響により酒類の需要が減った。●コロナウイルス影響で葬儀に使用するドライアイスの受注減少、夏のイベント中止により氷販売売上見込めず苦しい。国金から1000万、北海道銀行から2000万借入予定で資金繰り確保の予定。●ホテルへの酒の受注が激減、2月中旬～現在まで。売上割合の4割を占めていたので経営厳しい。持続化給付金4月で対象となるため申請予定(200万)●コロナウイルス感染症の影響により、観光客が激減。連休での町外からの消費者減少。キャッシュレス・消費者還元事業におけるポイント還元を実施しているため、駆け込み需要が見込まれる。●新型コロナウイルスの影響で外出自粛などで人の出入りがないので、それに関連した仕事がなくなったため、売上が落ちている。●当社は行楽立地でもあり幹線道路沿いのため、今回の新型コロナウイルス感染拡大予防の対策で、公的施設等の閉鎖で大きく客数が減少したため売上が減少し、すべてにおいて悪影響が出ている。●地域消費や経済の悪化への不安。スタッフのコロナ感染の不安など。●コロナウイルスの影響がさほど無かったのは幸いでしたが、他の市町などで同業の方が店を開いてそこにお客様が買いに行ってしまうことがあった。●新型コロナによる予約の延期により、3～6月の設備リース料が赤字になっているが資金の借入等は無いのでまだ大丈夫です。●例年だと、これから増えてくるイベントやお祭りが今年はすべて中止になり、それに伴う売上がなくなる。飲食店も再開した今、自粛慣れした人が果たしてどのくらい出て歩くのか先が見えず不安である。●取引している問屋さんが東京・大阪等のメーカー側から仕入する事ができない為、お店にも商品が入れられず、今後商品が不足になるのではないかと不安。●広告折込が少なくなっており、売上が減少している。今後、融資を受けることも検討中。●新型コロナの影響で、町内の一次産業が大打撃を受けている。それによって売れるものも売れない状況。売上が前年同期と比較すると半減しており、来期も回復する見通しが無い。●今般新型コロナウイルスの影響更に地域人口の減少により売上の激減となっております。事業主も高齢化で後継者もおらず静かに誰にも迷惑かけずに消えて行こうと思っています。●消費者需要の変化への対応の遅れに加えて、新型コロナウイルスによる広告需要の減少の影響が大きい。●コロナの影響で商品1個ずつを包装する手間が増えて、業務量が増えた。今後のレジ袋有料化がどのような影響を与えてくるか不安を感じる。●4月は業績が良かったが、要因は一時的なもので、6月は主力商品に期待ができない。●コロナウイルス感染症の影響で観光への打撃が大きく、収益の柱である地場観光客への販売が停滞している。そのほかに全国に出店している物産展の中止により、売上を確保するのが難しい。

●酒類の提供時間の短縮実施。●休業要請を受けた施設として休業実施。●コロナの影響を受けて、来店客のサイクルが延びて普段のサイクルでも延びているので、売上が上がりません。●コロナウイルスの影響により飲食店からの仕事の依頼が激減した事。●何も言葉はない。コロナにつける。3月別のウイルスで2週間以上休まなきゃいけないのも痛かった。先行き見えないのが怖い。●この度のコロナの件での影響は無いものの、景気が悪くなっているのは間違いない事なので来年は業績が悪くなる可能性は十分にあると思っています。なので設備投資せずに様子を見ようと思います。●個人酒店ですが、コロナの影響で飲食店・旅館等が1ヶ月以上も休業しており、酒類の売上が激減しております。国や道の救済もなく死活問題です。●コロナの自粛は美容業に影響があると思います。予約制の徹底をすると来客数が減少してしまうので今後心配になります。●新型コロナ感染症による損失は甚大で長期にわたる。収束後も需要が戻るか定かではなく危機感が強い。又、少雪傾向も気になる所で、ウイルス・気候変動と対策の難しい課題に直面している。●コロナの影響で休業していたので売上が減少し、今後先行きが見えない。●先がまったく見えない不安です。●明るい兆しが無い！●コロナの影響で3月から売上が激減。卒業式などの中止、自粛と農繁期が重なり来店しない状況です。●新型コロナウイルスの影響で、売上減少。持続化給付金請求し資金化、又、日本政策金融公庫から借入申し面接で資金化あり。今後緊急事態宣言の解除を早期に実施し、客の流動を期待する。●コロナ禍が長引く事による、観光産業への影響を懸念。●新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、観光客が激減。バイクトラブルなどもないため、売上が悪い。●コロナの影響により、宿泊客が減。●コロナウイルスによる影響大である。●インターネットなどのIT技術を利用して、テレワークでの仕事を行っているため、コロナウイルスの影響は小さいですが、周りの企業が元気にならないと、こちらにも影響が出るような気がしています。●高齢化が進む中で事業承継と人員確保に難があり、設備技術に力が入らない。人員が確保されなければ危機的状況は回避されない。オーバーワークとならないよう配慮するのが精一杯。●コロナの影響で客数減少。●コロナウイルスの影響で卒業式や入学式などが少人数で短時間しか行われてなかったためか、4月の売上が特に例年と比べ減少してしまい困っている。感染被害も落ち着いてきているので今後の売上は増加すると予想する。●新型コロナウイルス感染症拡大の為、先の見えない状況で、危機的な経営状態である。感染拡大が一定範囲に抑えられたとしても今までの様に戻らないと思う。営業を続けながら異業種への進出も考えなければならない。●今回は、コロナウイルス感染防止の為休業が続き、この先もまたいつ同じ状況が起こるか不安です。また、通常営業に戻っても、お客さんが以前と同じように来店してもらえない心配です。●今後のコロナの収束が不透明なため、集客が見込めず店舗運営が不安定となっております。●髪を切る仕事は不景気に強いのかも。●今年はコロナで客足が下がり、店舗新しくメニューも増やし少しでもお客様が来店してもらえる様メニュー強化するとともに商工事業のプレミアム商品券発行に期待しています。●後継者が就任した途端の自粛で、バスはオールキャンセル。先行き不安な中でのスタートです。事務所の老朽化が著しく、環境整備を考えていた矢先でしたが、当分の間先送り。雇用維持と経営継続をすべく前に進みます。●来客数が減少してしまった。さほど大きな影響は受けていないが、預金できるほど売上がない。また、消費税増税に伴い、仕入単価も大きくなっている。●新型コロナウイルスの影響で、法要や宴会などの団体予約がキャンセルとなり、売上が半減した。最低賃金も毎年上昇され、人件費も負担となっている。●町からの修理の依頼はあるが、予算が少ないとの理由で今後悪化を心配している。人口減のため、年齢もいっていることもあり、色々コロナの事も、色々影響している。●コロナウイルスの影響もあるが、地方の人口減少問題もあるため、業績悪化に繋がっている。●すべては、コロナのせいだと思います。●コロナの問題で需要が停滞している。長引けば長引く程戻りは遅いと思う。今現在は月に10%~15%位でダランしている。引続きコロナに注意をしながら営業を続けて行くつもりです。●コロナウイルスによる売上の低下は仕方がないとして、若者の利用者がどんどん美容に流れている状況の中、年齢の高い利用者はだんだん減ってくるのはやむを得ないものの先細さを感じる。●コロナにより店舗休業により悪化した事で今後の資金繰り売上の想像が出来ない。その為前年対比しても何のデータにもならないと思う。